

# 取扱説明書

6翼 1000W/タイマー付

型式番号

510610T

## クリーンヒーターの特長

### 1 空気を汚さない

火を使用しない(＝酸素を使わない)ので、部屋の空気を汚さず臭い也没有せん。

### 2 運転音がしない

耳ざわりなモーターなどの運転音がないので、寝室や勉強部屋にも最適です。

### 3 便利なONタイマーつき

最長12時間前からセットできるON式タイマー付。夜、寝る前に予約すれば、朝は暖かい部屋で目覚めることができます。

### 4 オイル交換不要の安全設計

熱伝導性の高いオイルを電気で暖め、完全密閉したパネル内を循環させるシステムなので、燃料による事故の心配がありません。また、オイルは難燃性で、補充や交換も一切不要です。

### 5 消費電力の節約

サーモスタットと電力切替えスイッチで適温を設定・コントロール。電気のムダ使いを抑えます。

### 6 移動が簡単

付属のキャスターにより、部屋から部屋への移動がスムーズにできます。

このたびはデロンギ クリーンヒーターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

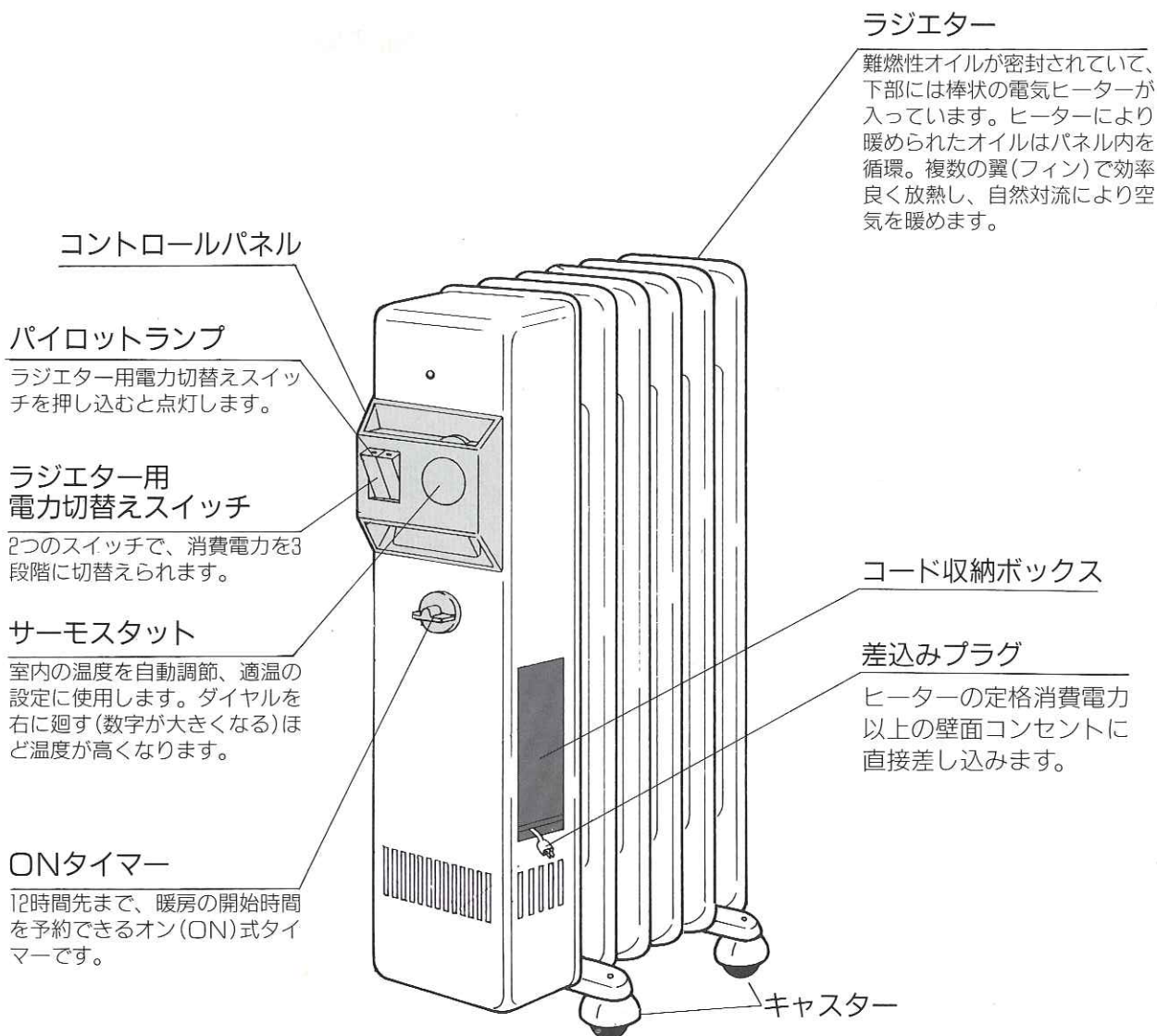
お求めのヒーターを正しく使用していただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みの後も大切に保管し、わからないときは再読してください。

## も く じ

●各部の名称とはたらき、仕様	1 P
●ご使用前に	2 P
●使用上の注意	3 P
●操作手順	4 P
●ONタイマーのしくみと使い方	5 P
●知っておいていただきたいこと	6 P
●日常の点検とお手入れ、保管のしかた	6 P
●アフターサービスについて	6 P

# 各部の名称とはたらき、仕様



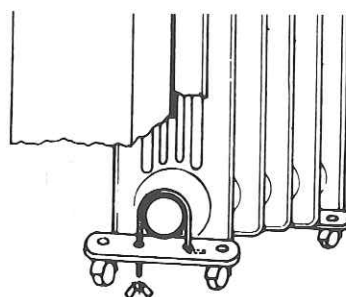
## ●仕様

製品名称	デロンギヒーター/タイマー付	
型式番号	510610T	
適用量数	3~6	
電圧 / 周波数	AC-100V / 50・60Hz	
消費電力(W)	強	1,000
	中	600
	弱	400
フィン(放熱板)の数	6	
外形寸法(mm)	幅	200
	長さ	360
	高さ	640
重量(kg)	12.0	
タイマー	12時間ON式タイマー	
電源コードの長さ	2m	

## ●キャスターの取り付け方法

付属のキャスター(2本)を、U字型金具、ナットで、本体下部の両端にしっかりと固定してください。

キャスターを誤って本体上部に取り付け使用しますと故障や事故の原因となります。絶対におやめください。

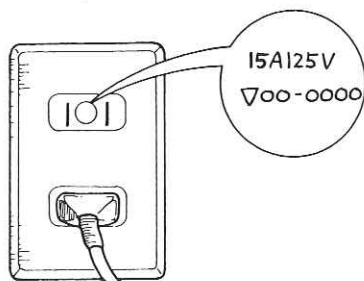


# ご使用の前に

## ●必ず守っていただきたいこと——電源について——

●一般家庭用100V、50・60Hzでご使用ください。

●電源は、必ずヒーターの定格消費電力以上の容量をもつコンセントおよび回路から直接おとりください。



●図のように、コンセントに「15A-125V」と記されていることを確認してください。

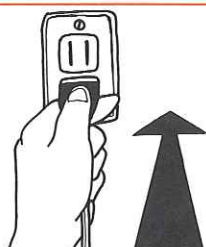
●消費電力が1,000Wタイプのヒーターでも「15A」を目安にしてください。

●この製品の定格電流は10A(アンペア)です。

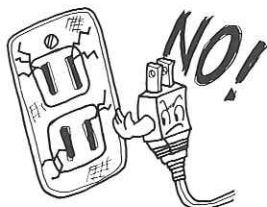
●ご自宅の契約電力が充分かどうか確認のうえ設置してください。契約電力は、電力料金の請求書/基本契約欄に〇〇A(アンペア)と記されています。ご不明の点は、電力会社にお問い合わせください。(5P参照)

●ヒーター使用時にブレーカー(=ご家庭の分電盤内にある配線遮断器)が落ちるときは、電力会社か販売店にご相談ください。(5P参照)

●差し込みプラグは、コンセントに根元までしっかり入れてください。



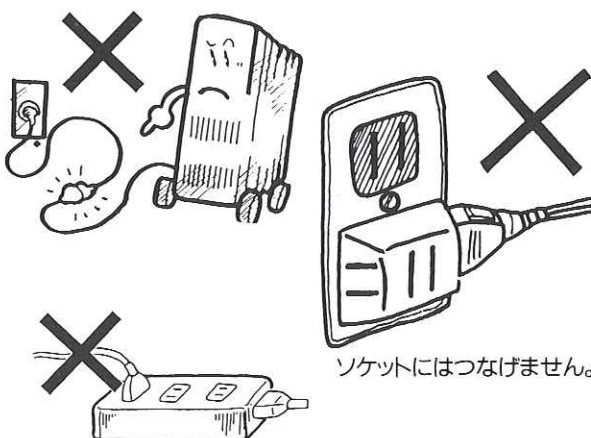
●差し込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。



●電源は、壁面のコンセントから直接おとりください。



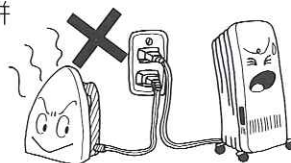
●延長コード、テーブルタップ、ソケット等の使用は危険です。絶対にやめてください。



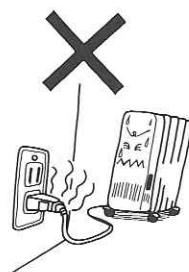
ソケットにはつなげません。

テーブルタップの使用、タコ足配線は危険です。

●二口コンセントを使用する場合、片方のコンセントは空けたままにし、他の電気器具と併用しないでください。



●差し込みプラグや電源コードが異常に熱くなったときは、ただちに使用を中止し、お求めになった販売店にご相談ください。

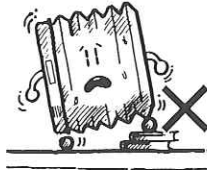




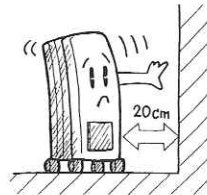
# 使用上の注意

## 設置場所について

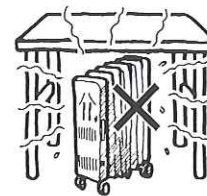
- 平らなところに置いてください。



- 壁や家具から20cm以上離してください。



- 机の下など、本体の上をふさがないようにしてください。



## ヤケドを防ぐために

小さなお子様には特にご注意ください。

- 運転中および停止直後は、コントロールパネル以外には触れないでください。



- ラジエーター(放熱板)のスキ間に手や足を入れないでください。

- 移動は、ヒーター本体が冷えてから行なってください。



## 万一の感電、事故を防ぐために

- 水や湿気の多い場所での使用はやめてください。

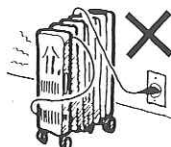


- 本体に水をこぼさないでください。万一、水をこぼしたときは、すぐに使用を中止し、お求めになった販売店にご連絡ください。



- 乾燥の目的で、洗濯物等ぬれたものをかけないでください。

- 電源コードが本体に触れないよう注意してください。

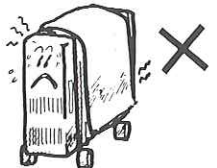


## 過熱による事故、故障を防ぐために

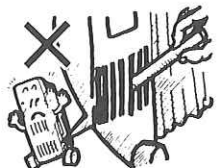
- キャスターは、必ず本体下部に取り付けてください。



- 本体の上に物をのせないでください。ふとん、毛布などを暖めるのも危険です。

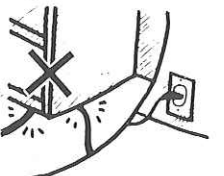


- ラジエーター(放熱板)の間に物をはさまないでください。



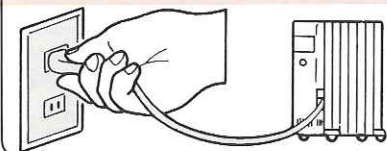
- 格子部のスキ間に物を入れないでください。

- 電源コードの上に、家具などの重たい物をのせないでください。



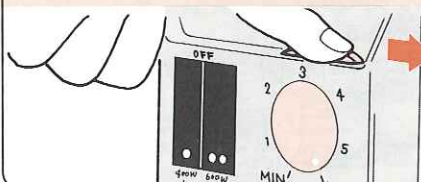
# 操作手順

## ①電源の接続



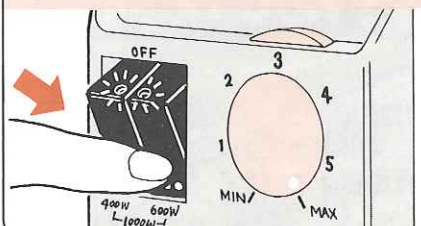
差し込みプラグを壁面コンセントに直接差し込みます。  
根元までしっかり入れてください。

## ②サーモスタットを最大出力にセット



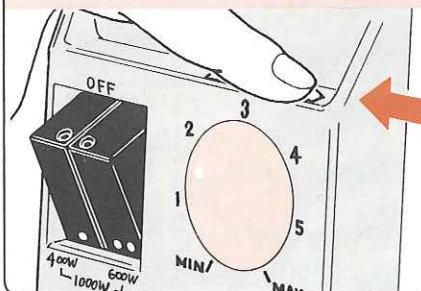
サーモスタットのダイヤルを右にいっぱい(MAX)に  
廻し、出力レベルを最大にセットします。

## ③電力切替えスイッチを「入」れる



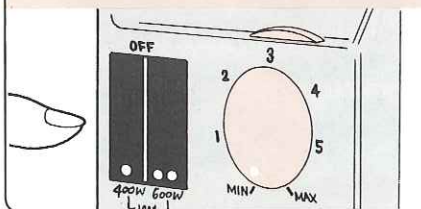
電力切替えスイッチを2つとも押し込みます。(※オイル  
を早く暖めるために、運転当初は電力を最大にしま  
す。)パイロットランプが点灯し、暖房が始まります。

## ④適温の設定



お望みの室温(=適温)に達したら、サーモスタットの  
ダイヤルをゆっくりと左に廻し、パイロットランプが  
消えたところで止めます。これで「適温」がセットされ、  
あとは自動的にON/OFFをくり返し、適温を保ち  
ます。室温を上げたいときは、ダイヤルを右に廻し(数  
字が大きくなる)、下げたいときは左に廻します。

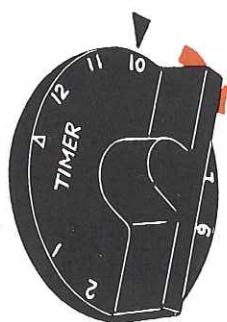
## ⑤電力切替えスイッチを「切」る



電力切替えスイッチを元に戻し、差し込みプラグをコン  
セントから抜きます。本体は、停止後しばらくは熱いの  
で、触れないでください。



# ONタイマーのしくみと使い方



※タイマー作動中は、わずかな時計音があります。

※1時間ほどの短い予約は出来ません。

12時間オン(ON)式タイマーです。指定時間(1目盛1時間)がくると、スイッチが自動的に入り暖房が始まります。

## 使用の手順

- ①差込みプラグを壁面コンセントに直接差し込みます。
- ②サーモスタットを最大にセットします。
- ③電力切替えスイッチを2つとも押し込みます。
- ④タイマーを右に廻し、暖房を始めたい時刻(現在の時刻から何時間後)を▽印に合わせます。  
※左の図は、現在の時刻から10時間後に暖房が入る——ことを示しています。
- ⑤あとは、指定した時間がくると自動的にスイッチが入り、暖房が始まります。

# 知っておいていただきたいこと

## 定格電流について

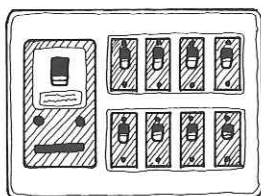


- ヒーター設置の際は、お求めのヒーターの定格電流(2P. 参照)に、ご家庭内の他の電気器具の使用電流を加えた数値(アンペア数)が、契約電力(2P. 参照)のそれを越えていないことを確認してください。

※ちなみに、電流(A)は、消費電力(W)を電圧(V)で割って算出します。例えば、1,000Wの消費電力を持つ器具は一般家庭用電圧100Vで割った10Aが定格電流の目安となります。

$$\text{電流(A)} = \frac{\text{消費電力(W)}}{\text{電圧(V)}}$$

## ブレーカーについて



- ご家庭の分電盤内には、通常、複数のブレーカー(配線用遮断器)が設置されています。これは、その回路で電気を使い過ぎた時、何らかの原因で瞬時に大電流が流れた時(短絡)に、自動的に電気を切り、電気回路を守るためのものです。
- 契約電力が不足している場合や、契約電力は足りていても、一つの電気回路の容量を越えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働きます。
- ※契約電力が不足している場合は、電力会社に、契約電力の増量を依頼してください。

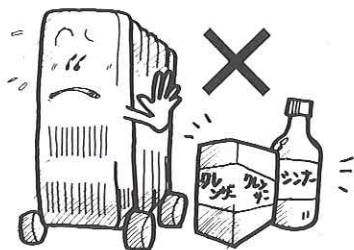
## ヒーターの表面温度について

- 使用中のヒーター本体の表面温度は、最高で約90℃になります。
- 個体温度はお湯などの液体温度と違い、1・2秒間触れてもヤケドはしません。しかし、それ以上長く触れているとヤケドをする危険性がありますので、使用中および停止直後は、コントロールパネル以外の本体に触れないようにしてください。

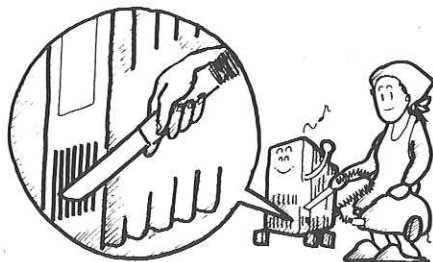
# 日常の点検とお手入れ、保管のしかた

※点検・お手入れをするときは、コンセントから差し込みプラグを抜き、ヒーター本体が冷えてから行なってください。

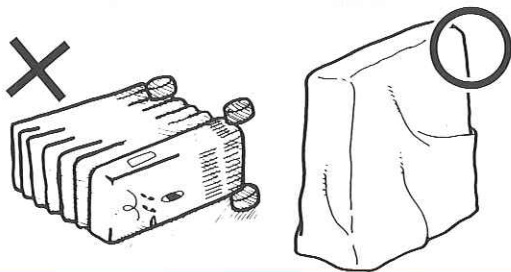
- 本体は、乾いた柔かな布でふいてください。汚れがひどいときは、布にお湯を含ませ、かたく絞ってからふいてください。洗剤やクレンザー、シンナーなどは使用しないでください。



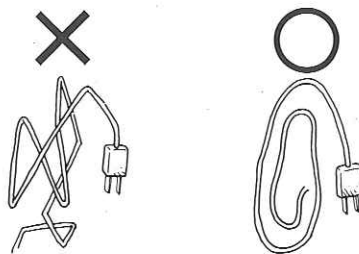
- ときどき、コントロールパネル内のホコリを格子部から掃除機で吸い取るか吹き出してください。長期の保管のあとは、たまったホコリが故障の原因になることがあります。ご注意ください。



- 長期間使用しない場合は、箱に入れるか本体にカバーをしてホコリを防ぎ、乾燥した場所に保管してください。保管の際は、横倒しにしたり、本体の上に物をのせないようにしてください。



- 電源コードをコード収納ボックスにおさめるときは、無理に曲げたり、折ったりすることがないようにしてください。



## アフターサービスについて

- 使用中に異常が生じたときは、ただちに全ての電力スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜き、お求めになった販売店にご相談ください。
- 万一故障したときは、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期②製品名称と型式番号③故障の状況——をご連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便などを利用して返送される場合は、故障の状況を記したメモを商品パッケージに同封くださるようお願いいたします。

- ご転居、ご贈答、その他保証期間中の修理などのアフターサービスについてご不明の点があれば、お求めの販売店か——

**デロンギ・ジャパン サービスセンター** (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30~18:00)

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル

修理について Tel.0120-804-280

お問い合わせ

Tel.0120-064-300 / Fax.045-450-3291



**デロンギ・ジャパン サービスセンター** (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30~18:00)

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

修理について **Tel.0120-804-280**  
お問い合わせ **Tel.0120-064-300 / Fax.045-450-3291**



**デロンギ・ジャパン株式会社**

●お客様メモ

購入年月日：平成 年 月 日 | 製品名称：デロンギヒーター  
タイマー付 | 型式番号：510610T

購入販売店名： TEL.

住所：〒



**デロンギ・ジャパン株式会社**

本社：〒101 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル TEL.03-5256-6321(代)  
大阪支店：〒541 大阪市中央区備後町3-3-15 ニュー備後町ビル TEL.06-263-6116(代)